



ゲートウェイノードの障害からの回復

StorageGRID software

NetApp
December 03, 2025

目次

ゲートウェイノードの障害からの回復	1
ゲートウェイノードの置き換え	1
ゲートウェイノードを構成するには、「リカバリの開始」を選択します。	1

ゲートウェイノードの障害からの回復

ゲートウェイノードの置き換え

障害が発生したゲートウェイ ノードを、同じ物理または仮想ハードウェア上で実行されているゲートウェイ ノードに置き換えたり、VMware または Linux ホスト上で実行されているゲートウェイ ノードを、サービス アプライアンス上でホストされているゲートウェイ ノードに置き換えたりすることができます。

実行する必要があるノード交換手順は、交換ノードで使用されるプラットフォームによって異なります。ノード交換手順 (すべてのノード タイプに適しています) を完了すると、その手順によってゲートウェイ ノードの回復の次の手順に進みます。

交換用プラットフォーム	手順
VMware	"VMwareノードを置き換える"
Linux	"Linuxノードを置き換える"
サービスアプライアンス	"サービスアプライアンスを交換する"
OpenStack	NetAppが提供する OpenStack 用の仮想マシン ディスク ファイルとスクリプトは、リカバリ操作ではサポートされなくなりました。 OpenStack デプロイメントで実行されているノードを回復する必要がある場合は、Linux オペレーティング システム用のファイルをダウンロードします。次に、以下の手順に従ってください。" Linuxノードの置き換え "。

ゲートウェイノードを構成するには、「リカバリの開始」を選択します。

ゲートウェイ ノードを交換した後、グリッド マネージャで [リカバリの開始] を選択し、障害が発生したノードの代わりとして新しいノードを構成する必要があります。

開始する前に

- グリッドマネージャにサインインするには、"[サポートされているウェブブラウザ](#)"。
- あなたは"[メンテナンスまたはルートアクセス権限](#)"。
- プロビジョニング パスフレーズを持っています。
- 交換ノードをデプロイして構成しました。

手順

1. グリッド マネージャから、メンテナンス > タスク > リカバリ を選択します。
2. 保留中のノード リストで、回復するグリッド ノードを選択します。

ノードは障害が発生した後にリストに表示されますが、再インストールされて回復の準備ができるまでノードを選択することはできません。

3. プロビジョニング パスフレーズ を入力します。
4. *回復の開始*をクリックします。

Recovery

Select the failed grid node to recover, enter your provisioning passphrase, and then click Start Recovery to begin the recovery procedure.

Pending Nodes

Name	IPv4 Address	State	Recoverable
104-217-S1	10.96.104.217	Unknown	✓

Passphrase

Provisioning Passphrase

Start Recovery

5. リカバリの進行状況を「リカバリ中のグリッド ノード」テーブルで監視します。



回復手順の実行中に、[リセット]をクリックして新しい回復を開始できます。手順をリセットするとノードが不確定な状態になることを示すダイアログ ボックスが表示されます。

Info

Reset Recovery

Resetting the recovery procedure leaves the deployed grid node in an indeterminate state. To retry a recovery after resetting the procedure, you must restore the node to a pre-installed state:

- For VMware nodes, delete the deployed VM and then redeploy it.
- For StorageGRID appliance nodes, run "sgareinstall" on the node.
- For Linux nodes, run "storagegrid node force-recovery *node-name*" on the Linux host.

Do you want to reset recovery?

Cancel

OK

手順をリセットした後にリカバリを再試行する場合は、次のようにしてノードを事前インストールされた状態に復元する必要があります。

- **VMware:** デプロイされた仮想グリッド ノードを削除します。その後、リカバリを再開する準備ができたら、ノードを再デプロイします。

- **Linux:** Linux ホストで次のコマンドを実行してノードを再起動します。 `storagegrid node force-recovery node-name`
- **アプライアンス:** 手順をリセットした後にリカバリを再試行する場合は、次のコマンドを実行してアプライアンスノードをプリインストール状態に復元する必要があります。`sgareinstall`ノード上。見る"[アプライアンスの再インストールの準備（プラットフォームの交換のみ）](#)"。

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。